

反対

●本予算は、市民の未来につながる視点が十分に示されていないと考える。第一に、市民不在の意思決定を指摘する。市民祭りの予算が計上されているが、目的や主体が不明確で、本来市民とともに進める事業にもかかわらず、市民が置き去りにされ、市民主体のまちづくりとは言えない。第二に、計画の後退と説明責任の欠如を指摘する。中心市街地活性化などに関するサウンディング調査は実施されず、計画の見通しが示されない中、必要であれば補正予算で対応するという姿勢は、市民への説明責任を果たしていない。道の駅の整備が見送

られたが、その代替案が十分に示されず、中小企業強靱化推進事業費や農業の担い手育成に関する経費は減少し、地域の稼ぐ力を高める施策は後退していると考えられる。第三に、将来に対する責任の放棄を指摘する。市長が掲げた定住人口の増加対策は、十分に具体化されているとは言えない。扶助費などの増加に対応するため、稼ぐ施策が不可欠であると考えられる。あやせローズガーデンは、多くの来園者を集める資源だが、市の発展に十分に結びつける戦略が見えない。市民とともにまちをつくる視点、厳しい時代に対する覚悟や、未来へのビジョンを生み出すことができないことから、本予算に反対する。(あやせ未来会議)

●病院誘致や学校給食費の無償化などに向けた施策を評価する一方、まちづくりに対する住民合意形成の欠如や税金の使い方の問題を指摘する。中心市街地推進事業費では、市民アンケートなどを通じ、まちづくりの構想を具現化するよう求める。ローズガーデンの維持費がこれまでの10倍以上となる問題を再度指摘する。落合・吉岡地域の区画整理事業では、工業用地ではなく、農地保全と農業生産高の向上に取り組みとともに、地産地消や学校給食への供給体制の構築を求める。公民館などの使用料は無料が原則という視点に立ち、市民の声に耳を傾けるべきである。指定管理者制度では、営利企業による運営が、労働条件の悪化を

招いていることを指摘する。マイナンバー制度とガバメントクラウドの推進では、国による国民監視強化と、国内外への個人情報流出の危険性を指摘する。医療費助成の年齢制限、障害者愛護手当の縮小や学校プール開放の中止を問題視する。税金滞納者への滞り滞り対応するよう望む。厚木基地との交流事業を中止するとともに、オスプレイの飛行停止や、不平等な日米地位協定の抜本的な改定を求める。国の悪政に対する防波堤の役割を果たすことを強く求め、本予算に反対する。(日本共産党あやせ)

●本予算案には中心市街地活性化に関する予算が含まれておらず、令和7年12月定例会ではサウンディング調査の中止が決定し、併せて道の駅の整備に対して、市長は慎重な姿勢を示しているが、8年度こそ検討を進めるべきである。市民の負担感を見極めた中で、道の駅の整備を判断し、中心市街地活性化を構想するよう要望する。タウンヒルズの解体に反対してきたが、新たな商業施設は、以前と比べ店舗や憩いの場が著しく減少している。市民が憩い、買い物などを楽しめる場となるよう求める。これまで文化会館などの指定管理者制度導入に反対してきた。市が直接管理運営することで、市民サービスや雇用が保障され

るものと考えられる。小学校の給食費は無償化、中学校は半額補助となっているが、子育て支援の観点から、給食費を完全無償化とし、さらに副食の地産地消を促進するよう求める。落合北部、吉岡東部地区の区画整理準備組合に対する支援が盛り込まれているが、地権者の意向を十分に酌み取り、周辺の学校環境へ配慮するよう要望する。夏の市民祭りや秋のイベントをなくし、新たな祭りを開催することに賛成するが、市主導ではなく市民が中心となり、親しまれる内容となるよう努力を求め、本予算に反対する。

※()は、会派名です。記載のないものは、会派を組んでいない議員の意見です。

市政に対する一般質問

一般質問



まちづくりの土台となる長期財政計画を作成しないか

岡 徳行

●30年後に向けたまちづくりについて

Q 人口減少や超高齢化社会を見据え、行財政運営の羅針盤となる計画や議論を深めていく組織体制が必要では。

A 財務体質強化のため、財政収支差拡大の抑制を目指した新たな行政運営の基本方針策定に向け、議論を進めていく。新たな組織の設置は考

えていないが、引き続き調査研究していく。

Q 国は厚木基地に係る騒音コンターの見直しを発表したが、70デシベルを超える航空機騒音の回数は依然として変わらない。国にどのような申し入れを行うのか。

A 今回の見直しに関し、市民に対する国の丁寧な説明



市民が夢や希望を抱けるまちづくりのビジョンを問う

あやせ未来会議 安藤多恵子

●未来に向けた綾瀬のまちづくりについて

Q 中心市街地振興課の令和8年度予算は2万9千円だがこの内訳は。また、まちづくりに対する市長の考えは。

A 官公庁等への調整に係る出張旅費1万9千円と、消耗品費1万円である。また、市民が集うという大きなコンセプトの下、サウンディング



一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。3月定例会では、3月16日・17日の本会議で14人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です。(掲載は質問順、6ページまで続きます) 見出し下部の二次元コードから市議会ホームページに掲載の各議員の一般質問の録画映像にアクセスできます。

調査を始めさまざまな調査方法を取り入れ、幅広い視点で検討を進めている。

Q クーポン券配布の方法について

A 紙のクーポンと比較して電子クーポンに500円上乗せした理由は。また、デジタル弱者への配慮はあったのか。

●リサイクルプラザの在り方について

Q 環境行政の拠点としてリサイクルプラザを利活用してはどうか。

A 環境を学び、体験し、実践へとつなげる拠点として活用している。今後、施設をより一層活用し、多様な主体が参画可能な仕組みづくりを進め、市民の意識変化につながる取り組みを展開する。

